


平成26年度 総務部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
総務部長 福池 敏和	<p>●使命 私たち総務部は、総合計画に掲げる「人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内」の将来像に向かい、高度化・多様化する住民ニーズにこたえられる人材を育成し、公正で開かれた市政運営に努めます。</p> <p>●基本方針 ①透明で開かれた市役所があるまちを目指して、HP情報発信の充実、市民目線の公聴広報の取組み再検討及び公有財産の適正管理を行ないます。 ②市民ニーズにこたえる市役所があるまちを目指して、人材育成施策の充実、個人情報保護評価を実施します。 ③便利な情報ネットワークがあるまちを目指して、番号制度導入に向けた取組みを実施します。</p>	所管課	秘書広報課・総務課・契約管財課		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			25人	8人	33人
		一般会計	677,781 千円		
		特別会計	— 千円		
		計	677,781 千円		
	(うち正職員人件費)	(200,013 千円)			

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	秘書事務部門の充実	<p>市内秘書業務関連課との連携をとりながら、瀬戸内市独自の秘書事務の手引き等の作成により、安定した秘書事務業務の実現に取り組めます。</p> <p>市長・副市長の業務が円滑に進むような秘書業務の安定的な事務内容の検討をします。</p> <p>市民や各種団体関係者などご意見・ご提言に対し、状況に応じた的確な対応力と満足度の高い接遇を行うことができるように人材育成をします。</p>	市長や副市長のスケジュール管理は概ねできています。参考にする市には積極的に出向いていき、資料の収集等に動いています。各種対応や処理等のノウハウを順次整理しています。最後にまとめ上げられるように鋭意努力をしています。	県内数か所の秘書業務の資料を収集し、各担当との情報共有により、秘書業務の安定化に努めています。市長会事務局との連携も綿密に行うようにしており、平常時ならびに出張時などの市長・副市長のスケジュール管理等においては良好な状態となっています。	一年を通じて様々な情報収集により、秘書マニュアル作成の結果、市長・副市長のスケジュール管理は円滑に取り組むことができました。担当の研修にも積極的に参加する体制のもと、接遇態度も対応力も良い状態となりました。

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	HPの情報発信の充実	平成26年度末までに、ホームページをリニューアルし、CMSを導入してウェブアクセシビリティに配慮したページを構築します。HPの更新作業時間の短縮により迅速な情報提供を行います。	平成26年6月にプロポーザルを実施し、7月に契約を締結します。また、職員向けに研修を実施し、27年1月から各担当部署から情報を発信できるようにします。	平成26年6月にプロポーザルを実施し、審査委員会において業者を決定しました。7月に契約を締結し、業者との協議や各課との調整・会議を定期的にもつことで、一体感を持って作り上げている状況です。作業工程においても予定どおり進捗しています。	各課の協力を得て従来からの情報の移行も円滑に行われ、平成27年1月19日にHPリニューアルができました。各職員向けにCMSの操作研修も行い、各課から直接情報発信の環境を整えることができました。細部の調整等やCMS操作の指導については随時行っており、市民に迅速な情報発信ができています。	年次計画に基づき、27年1月にホームページのリニューアルをすることができました。アクセシビリティに配慮した点をお伝えするため、障がい者の支援団体会議などにも出向き、操作など説明する機会を持つことができました。
3	人材育成施策の充実	人材育成の一環として行う業績評価(目標管理)のシステム化を図ります。職員募集・採用試験の方法をより充実させ、優秀な人材の確保に努めます。内部講師を効果的に利用した研修を実施すること等により市民の期待に応える職員の人材育成に取り組めます。	目標管理のシステム化導入に係る研修会を実施し、適正導入を図ります。高卒、短大卒採用試験における中間面接を実施します。内部講師による研修会を実施します。	5月に目標管理システム導入に伴う制度、操作についての研修を実施しました。8月に内部講師（市長）による係長級職員を対象とした研修を実施しました。10月19日の高卒、短大卒の2次試験において、集団討議を実施予定です。	1月から2月にかけて、人事評価システムによる期末評価を実施しています。また、就実大学、邑久高校にて市役所・公務員についての説明を行い、に努めました。来年度の採用試験に向けて、時期や選考方法など検討しているところです。	人事評価システムへの入力に手間取ったことなどにより評価結果のフィードバックが3月末までにできませんでした。近隣の3市との合同採用説明会の日程が決定し、引き続き優秀な人材の確保を図っていきます。また、来年度の採用試験について新たな取り組みを入れた素案ができ、今後は任用委員会に諮って、進めていきます。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4 番号制度導入に伴う個人情報保護評価の実施	番号制度導入に伴う特定個人情報保護評価、関係例規の整備等を適切に行い、市民の個人情報を守り、公正で信頼される市政を推進します。	平成26年度末(又はシステムの要件定義段階)までに特定個人情報保護評価を完了します。 平成26年度末までに、個人情報保護条例の改正等、関係例規を整備します。	12月末までの特定個人情報保護評価の実施を目標に、評価対象業務の整理中です。	特定個人情報保護評価の実施が完了しました。(市ホームページでは近日公表予定です。) 今後は、個人情報保護条例の改正等、関係例規の整備を行っていきます。	特定個人情報保護評価については、市のホームページでの公表も行いました。今後は番号制度の導入に向け、必要な例規整備に重点を置き、準備を進めて参ります。
5 公有財産の適正管理	「瀬戸内市公共施設再編方針」に基づき、公共施設のあり方の見直しを行い、持続可能な行政経営を可能にするため、公共施設再編計画を策定します。 市が保有する遊休施設や未利用地の活用・処分により公有財産の適正管理に努めます。	平成26年度は、公共施設の必要性やコスト、サービス水準に関する施設評価を実施し、公共施設再編計画を策定します。 遊休施設や未利用地の活用及び処分方法等についての検討を行います。	支所・出張所及び分庁舎のあり方に関する意見交換会を開催し、行政改革リーダー会議で施設群を設定して評価を実施しました。 市所有施設等に太陽光発電施設の設置を検討中で、委託業者による基礎調査が終了したところです。	公共施設再編計画の案を行政改革推進本部会議にて示し、今後施設所管課と意見調整を行うこととしています。 市有施設における屋根貸太陽光発電事業の実施可能性が確認できました。これを受け、実施事業者の公募に向けて検討を進めています。 未利用地については1件売却を行いました。未利用かつ老朽化が著しい建物を1件除却し、今年度中に更に1件除却の予定です。	公共施設再編計画の案を示した後、所管課との意見調整は未了となっています。 市有施設における屋根貸太陽光発電事業の公募を平成27年度に実施準備を進めています。 老朽化が著しい建物を合計2件除却しました。

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
6	番号制度導入に向けたシステム改修	平成27年10月に付番、通知が始まる「社会保障・税番号制度」に対応するため、システムを改修し、業務改革の実現を目指します。	平成27年4月に予定している、地方公共団体情報システム機構との連携テストに向けて、平成27年3月末までに市民課と連携し、既存の住基システムを改修します。	委託業者が主催する研究会に参加し、今後の進め方や予定、進捗状況について確認を行いました。既存住基システム改修については8月から開発が始まり、3月末までに改修を終了します。他システム（税、国保、福祉等）については平成27年1月～平成27年10月に改修予定です。	既存住基システム改修については、当初の予定どおり3月末までに改修が完了する予定です。他システム（税、国保、福祉等）についても、当初の予定どおり平成27年1月～平成27年10月にかけて改修の予定です。	既存住基システム改修は3月末で改修を完了。他システム（税、国保、福祉等）についても、当初の予定どおり平成27年1月～平成27年10月にかけて改修の予定です。